



俳句寺子屋

2/10

冬の文化講座『俳句寺子屋（町教育委員会主催）』が町福祉センターで開かれ、受講者どうして自ら作った俳句を講評しあいました。  
三石地区では初めての俳句講座で、現代俳句協会の鈴木清さん（静内中野町）を講師に招き、受講者は「2月」を季題に各自3句づつ持ち寄っての「持ち寄り雑詠」を行い、俳句の奥深い世界に触れ合いました。  
受講者は「今まで我流でやっていたので、とても勉強になりました」と話していました。



第2回しずないスクールバンドフェスティバル

2/13

静内中学校と静内第三中学校、静内高等学校吹奏楽部による『第2回しずないスクールバンドフェスティバル』が町公民館で行われ、日頃、部活動などで積み重ねてきた練習の成果を発表しました。  
会場には、子どもたちを応援しようと保護者や同級生など約70人が駆けつけ、各学校2曲づつ演奏し、最後は3校合同で「宝島」などを演奏。迫力ある演奏と生き生きとした音色に耳を傾けながら、楽しい時間を過ごしました。



ソフトバレーフェスタ

2/14

『第3回新ひだか町ソフトバレーフェスタ』が三石スポーツセンターで行われ、「小学生の部」に12チーム、中学生以上の男女で構成する「混成の部」に23チームが出場し、熱戦を繰り広げました。



第19回ウインターデ・ライト

2/6

5,000個のアイスクャンドルが街並みを幻想的に彩る『第19回ウインターデ・ライト（町商工会青年部主催）』が開かれ、多くの町民が来場し真冬のイベントを楽しみました。  
今年は、メイン会場を静内神社からみゆき通りに移し、歩行者天国にして行われ、来場者はみついし和牛やホエー豚など地場産品の「寒中焼肉」に舌鼓を打ち、スタンプラリーや牧草ロールころがし大会などで大いに盛り上がりました。



ピュアプラザコレクター展

2/14

長年収集してきた自慢のおもちゃを展示する「コレクター展」がピュアプラザで開かれ、来場者はリカちゃん人形やミニカーなど約5,000点の陳列に、感心して見入っていました。



新ひだか町交通安全大会

1/23

今年1年の交通安全と事故防止に向けた『町交通安全大会（町交通安全推進協議会主催）』が町福祉センターで開かれ、住民や関係者約150人が参加し、防犯と交通安全の意識を高めました。  
開会に先立ち、静内地区警察友の会と静内警察署による「地域の安全・安心を願うもちつき大会」が行われ、つきたてのきな粉もちがふるまわれました。  
参加者は、手並み鮮やかな交通安全マジックショーや道警音楽隊の迫力ある演奏などを楽しみました。



独居老人宅に火災警報器設置

1/31

緑町第5自治会（谷岡政孝会長）では、自治会内の高齢者一人暮らしの16世帯に住宅用火災警報機を取り付けました。  
これは、焼死事故防止対策と地域の防災意識を高めることを目的に実施したもので、会長の谷岡さんは「地域の防災について、行政に依存するだけではなく、自治会独自でできることを模索し、取り付けに至った。今後は高齢者夫婦世帯にも取り付けた」と話していました。



日高の森林づくりを広げる集い

2/10

地域の人々に森林の役割についての意識を高め、森林づくりの理解と協力を呼びかける「日高の森林づくりを広げる集い」が町公民館で開かれ、参加者は森林を取り巻く現状などについて学びました。



まちのできごと、話題をお届けします。



B★Bとあそぼう2009

1/22

北海道日本ハムファイターズのマスコットキャラクター「B★B」とコカ・コーラボトリングの清涼飲料水キャラクター「Qoo」が東静内保育所を訪れました。  
子どもたちは人気キャラクターとの交流に大喜び。食育メッセージが込められた「ちゃんとたべよう体操」を元気に踊り「B★B」が弾くピアノに合わせて「さんぽ」を合唱。ティーバッティングの体験などを通して、楽しくふれあいました。



健康づくり移動教室

1/19

冬場の運動不足の解消と健康づくりなどを目的に「健康づくり移動教室」が三石スポーツセンターを皮切りに行われ、参加者はソフトバレーやストレッチ体操などで、楽しく汗を流しました。